学校番号	3021

令和２年度　地理歴史科（2 年）

教科	地理歴史	科目	世界史Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	『世界史Ｂ　新訂版』（実教出版）						
副教材等	『新世界史図説 タペストリー 十七訂版』（帝国書院） 『世界史Ｂ　新訂版　演習ノート』（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史を学ぶことの意義や目的は、歴史的事象の背景や原因・結果・影響などを考えることにあります。１年次で培った考え方や知識をもとに、一緒に考えていきましょう。
・授業では受け身にならず，自分の考えを発表し，主体的に議論に参加する姿勢を求めます。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し,文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することによって，歴史的思考力を培い，国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	国際社会に主体的に生きる資質を養うため,世界の歴史に対する関心と課題意識を高め,意欲的に学ぶ姿勢を持っている。	世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現できる。	世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり、図表にまとめたりすることができる。	世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解し､その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート 授業での観察	定期考査 ワークシート 発表や討論	定期考査 ワークシート レポート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	世界史への扉	・自然環境と人類のかかわり ・日本の歴史と世界の歴史のつながり ・日常生活にみる世界の歴史	○	○	○	○	a：自然環境と歴史、日本の歴史と世界の歴史のつながり、日常生活にみる世界の歴史にかかわる主題を考察する活動を通して、地理と歴史への関心を深め、意欲的に追究しようとしている。 b：設定された主題について、多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。	ワークシート レポート
前期	諸地域世界の形成	【西アジア世界・地中海世界】 ・オリエントの文明と統一 ・ギリシア文明 ・ヘレニズム時代 ・ローマ帝国 ・イラン民族の国家	○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a：オリエント文明、ギリシア・ローマ文明、イラン人の活動に対する関心を深め、意欲的に追究しようとしている。 b：西アジア世界と地中海世界の形成過程を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：西アジア世界と地中海世界の形成過程に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：西アジア世界と地中海世界の形成過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論

前期	諸地域世界の形成	【南アジア世界・東南アジア世界】 ・インド文明 ・東南アジア世界と海の道	○	○	○	○	a：インダス文明、アーリア人の侵入以後の南アジアの文化、社会、国家の発展、東南アジアの国家形成に対する関心を深め、意欲的に追究しようとしている。 b：南アジア世界と東南アジア世界の形成過程を多面的多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：南アジア世界と東南アジア世界の形成過程に関する諸資料を収集し、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：南アジア世界と東南アジア世界の形成過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論
前期	諸地域世界の形成	【東アジア世界・中ユーラシア世界】 ・中国文明の形成 ・中国古代帝国の成立 ・2世紀までの朝鮮半島と日本列島 ・中央ユーラシア世界の国家形成 ・胡漢融合帝国の誕生 ・3～9世紀の朝鮮半島と日本	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a：中華文明の起源と秦・漢帝国、遊牧国家の動向、唐帝国と東アジア・内陸アジア諸民族の活動に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程に関する諸資料を収集し、有用な情報を読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：日本を含む東アジア世界と内陸アジア世界の形成過程について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論

後期	諸地域世界の交流と再編	【イスラーム世界の形成と拡大】 ・イスラーム帝国の成立 ・各地のイスラーム国家 ・イスラームの都市と文化	 ○	○	 ○	○ ○	a：アラブ人とイスラーム帝国の発展、トルコ系民族の活動、アフリカ、南アジアのイスラーム化に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：イスラーム世界の形成と拡大の過程について、ユーラシアの海域及び内陸ネットワークを背景に諸地域世界の交流が活発化したことと関連して、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：イスラーム世界の形成と拡大の過程に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：イスラーム世界の形成と拡大の過程について理解し、その知識を身につけている	定期考査 ワークシート 発表や討論
後期	諸地域世界の交流と再編	【ヨーロッパ世界の形成と展開】 ・ラテン=カトリック圏の形成と展開 ・ビザンツ帝国とギリシア正教圏 ・ラテン=カトリック圏の拡大 ・ラテン=カトリック圏の動揺と秩序の変容 ・キリスト教世界のなかの文化	 ○ ○	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	a：ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開に関する諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論

後期	諸地域世界の交流と再編	【中央ユーラシア世界の動向と諸地域世界】 ・中央ユーラシア諸民族と東アジア世界の変容 ・モンゴル帝国の成立 ・東南アジア世界の再編 ・海域世界の展開と第1次大交易時代 ・10～13 世紀の朝鮮半島と日本	○ ○ ○	 ○ 	 ○ ○ 	○ ○	a：：中央ユーラシア諸民族と宋の抗争、モンゴル帝国の興亡とユーラシアの諸地域世界や日本の変動に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b：中央ユーラシア諸民族が諸地域世界の接触や交流と再編に果たした役割について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：中央ユーラシア諸民族が諸地域世界の接触や交流と再編に果たした役割についての諸資料を収集し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d：中央ユーラシア諸民族が諸地域世界の接触や交流と再編について理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 発表や討論
	諸地域世界の結合と変容	・近世ヨーロッパと大航海時代 ・アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代 ・環大西洋革命とパクス＝ブリタニカ ・近代ヨーロッパ・アメリカの国民国家					以後は概観し、詳細は３年次世界史Ｂ・世界史講究で学ぶ。	
	地球世界の到来	・ヨーロッパの帝国主義 ・二つの世界大戦 ・冷戦から多極的国際社会へ ・グローバリゼーションと地球環境の危機						

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：資料活用の技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。